

文化庁「日本博」企画委員会（第6回）議事要旨

【日時】

令和2年2月4日（火）15：00～17：00

【場所】

文部科学省 3F2 特別会議室

【委員出席者】

織田紘二委員，河村潤子委員，河野俊嗣委員（代理），コシノジュンコ委員，小林達雄委員，小松大秀委員，佐藤雅敏委員，島谷弘幸委員，高階秀爾委員，根立研介委員

【文化庁】

宮田長官，中岡次長，杉浦審議官，坪田参事官，山田新文化芸術創造活動推進室長

事務局から資料に基づき進捗状況の説明。

その後，各委員等による意見交換が行われた。主な発言は以下の通り。

○オープニングセレモニーは，事故がないように整理券を渡すなどの対応が必要である。

○東京国立博物館が平和的な事業に活用されることが素晴らしいと思う。

○オープニングセレモニーはお客様に大きなインパクトを与えると思う。

○日本博の全体像というのもアピールできるオープニングセレモニーにしてほしい。日本の古典と今を駆け抜ける現代アートとのコラボに期待したい。

○予算の問題があると思うが，日本博で電車ジャックをすれば効果があると思う。

○日本博の広報大使が黒柳徹子さんということで意表をつかれた。日本人はみなさんご存知の方であるし，インターナショナルな方なのでいい人選だと思う。

○日本博チャンネルを作ってほしい。月1回でもいいので，面白いものや日本博にふさわしいものを取り上げたらいいと思う。なかなか現地へ行けないのを動画なら見られるというのがあれば外国人は喜ぶと思う。

○歴女とか仏女とか女性が文化に対する色々な流れをつくっているのはいいと思う。

○日本博のいくつかのプロジェクトが大成功をおさめ，何年も継続していくようなものになってほしい。

- 初めての試みというのは大事である。
- 元からあるイメージが日本博によって変わるということが重要だと思う。
- 学生等、文化プログラムに参加するために金銭的な問題がある方々もいるので、ある日本博プロジェクトに行き、次に別のプロジェクトに行くときに割引をすとか何らかのメリットがあるようにしたら良いと思う。あるいは、あるプロジェクトを観た人が次も行こうと思うような工夫を考えてもいい。
- 日本の伝統的なものを保ちながら、新しいものを取り入れるということが重要である。
- 目に見えるレガシーだけでなく、目に見えないレガシーもできればいいと思う。

(事務局より)

- オープニングセレモニーの告知をSNSを通じて発信をしたところ、今までにないくらい多くの反応があった。
- 伝統的な舞台と刀剣乱舞のような現代のものが融合するということが嬉しいというお声をいただいている。
- オープニングセレモニーに向けて日本博の公式WEBサイトもデザインと機能を高めていきたい。
- 日本博を知っていただくということが課題となっていたが、徐々に右肩上がりになってきていると思う。
- 日本博に参加していただいた団体の方にもメリット感じてもらえるようなプロモーション動画を作っていきたいと思う。
- 博物館、美術館ごとの収益があるので、割引を統一的に実施するには多くの課題がある。
- 先日のダボス会議では、若い層の人が非常に日本の文化に興味をもっていたので日本博に関する発信を引き続きしていきたいと思う。
- 夜と文化を掛け合わせたりするのが大事である。